



サイクル県 やまぐち Project ～やまぐち自転車旅～

「サイクル県やまぐち」の実現へ向けて

1 「サイクル県やまぐち」とは

**誰もが
県内各地で
四季を通じて
サイクルスポーツを快適に
楽しむことができる県**

○子どもから大人まで、初心者も含めて、幅広い年齢・レベルの人々が、県内のあらゆる場所で、年間を通じて、サイクリングからプロツアーまで様々なジャンルのサイクルスポーツを快適に楽しめる県を目指します。

2 山口県の実施

サイクルスポーツの振興

観光・文化施策との連携を通じた山口県の新しい魅力の創出



「サイクル県やまぐち」イメージを創出し、国内外へ発信

プロジェクト1 シンボルイベントの開催

プロジェクト2 サイクルスポーツ環境の整備

プロジェクト3 効果的な情報発信



交流人口の拡大・地域の活性化

3 プロジェクト展開スキーム【H28～H30】

平成28年度

プロジェクト開始のアピールと基盤づくり着手

- 推進協議会立ち上げ・プロジェクト開始
- シンボルイベント開催
- サイクルスポーツ環境の整備着手
 - ・広域サイクルルート設定、サイクルトレインの試行など
 - ・サイクルエイド・ステーション、サイクルピットの整備
- 情報発信開始
 - ・PRビデオ制作・スポーツ専門チャンネル番組放映

平成29年度

より一層「ツーリズム」の観点を重視した取組を展開

- シンボルイベントの内容拡充（観光地 秋吉台での開催）
- サイクルスポーツ環境の充実
 - ・宿泊施設へのサイクリスト用設備の設置、主要観光スポットへの路面標示
 - ・DCを活用したサイクルトレイン運行拡大
 - ・サイクルエイド・サイクルステーション整備拡大、サイクルピット整備拡大
 - ・明治150年シンボルロードの整備
- 情報発信強化（国外・県外へ向けたプロモーション強化）

平成30年度

サイクルツーリズムの確立を目指した取組

- 「ゆめ花博」と連携したシンボルイベントの開催
- サイクルスポーツ環境の整備
 - ・ツーリズムに軸足を置いた環境整備
 - ・マーケティングと今後の戦略等の策定
- 情報発信：ツアー催行へ向けたプロモーション強化

サイクルツーリズムによる交流人口の拡大・地域の活性化

4 これまで3年間の取組(1)

1 シンボルイベントの開催

All Yamaguchi Ride Festa 2016・2017・2018

■国内最高峰ロードバイクレース・マウンテンバイク国際大会・関連イベント

藩庁門タイムトライアル[山口市・県庁構内]	H28		
秋吉台カルストロードレース[美祢市・秋吉台]	H29	H30	
維新やまぐちクリテリウム[山口市・パークロード]	H28	H29	H30
やまぐち十種ヶ峰国際ダウンヒル(CJ-U)[山口市・十種ヶ峰]	H28	H29	H30
Let'sエンジョイゆめ花サイクル			H30



■関連イベント

- けものフレンズトークショー、Yamakatsuライブ
- ポタリング、キッズエリア、ふれあい動物園
- 電動マウンテン、電動自転車、タンデム自転車体験
- レース観戦ツアー（阿東リンゴ狩り・ジャムづくり）
- プロライダーとのサイクリング、SOサイクリング など



■参加者8,200人（H28） 4,400人（H29） 17,400人（H30）

※H28～H29は荒天のため、それぞれ中止イベントあり

- 「リンゴ狩りやレース観戦、餅まきも楽しかった」（レース観戦ツアー参加者）
- 「両レースともに美しいコースもすばらしかったし、観戦者の声援がとても力になる大会だった」（参加プロ選手）
- 「レノ丸ふわふわや、ブラインドサッカー体験、キッズバイク体験などいろいろ遊べて楽しかった。」（観戦者）

4 これまで3年間の取組(2)

2 サイクスポーツ環境の整備

■ サイクルエイド・サイクルステーション整備拡充

- サイクルエイド：サイクリスト休憩所
サイクルステーション：レンタサイクル配備
- 公募制度を導入し、30年度、新たにサイクルエイド50か所
サイクルステーション4か所を整備 合計141か所に拡充



■ サイクルピット整備拡充

- 自転車の組立等を行うスペース
- JR 1か所（東萩駅） 港1か所（柳井港）
空港2か所（岩国錦帯橋空港、山口宇部空港）
県外からの玄関口に整備
合計10か所に拡充



■ 宿泊施設へのサイクリスト用設備の設置拡充

- 宿泊施設への夜間保管用自転車ラック等を設置支援
- 新たに3施設（萩市、徳地、岩国市）設置
合計6施設に拡充



■ 主要観光スポットへの路面標示

- メイン3ルートすべてに表示済
- 近隣県との広域エリアで統一したデザイン標示



2 サイクスポーツ環境の整備

■ サイクリングツアーのルート造成・催行支援

- タイからのサイクリングツアー（4回）
- 台湾からのサイクリングツアー（3回）
- 韓国からのサイクリングツアー（3回）※ファムツアー含む



■ サイクルルートマップの制作

- ルートの距離、サイクルエイド等の施設、所要時間の目安等記載

■ サイクルトレインを活用したツアー

- H28.11.5（山口線：新山口～長門峡）
- H29.10.7/8（山口線：宮野～地福）
- H29.12.16（美祢線：美祢～仙崎）
- H30.3.25（山口線：宮野～地福）
- H30.10.7（山口線：宮野～地福）



■ ガイド養成講座・ライドスクールの実施

- H29.3.18/19（山口市・美祢市）10名
- H30.3.24/25（山口市）10名
- H30.5.12/13（周防大島町）8名
- H30.11.17/18（美祢市）4名
- H31.3.2/3（萩市）6名 ※合計38名



■ ライドスキルアップ施設整備

- 美祢市大正洞、交通安全学習館、深坂の森

■ セーフティライドの推進

- ヘルメット着用、初心者向けライドスクールの実施

■ 民間事業者と連携したサイクルツアー普及拡大

- サイクルツアー帯同車としての使用を目的とし、
観光車両に自転車キャリアを試験的に設置



4 これまで3年間の取組(3)

3 効果的な情報発信

■ サイクルポータル制作運営 <http://cycleken-yamaguchi.com/>

- 県内サイクリイベントやメカトラ時のサポート自転車ショップなど、サイクルスポーツ関連情報等一括紹介
- フェイスブックによる情報発信で、8万いいね達成



■ サイクル県やまぐちP V

- 西部篇、東部篇、北部篇、秋吉台カルストロード篇、All Yamaguchi篇制作・公表

■ サイクルスポーツ雑誌やファッション雑誌にやまぐち自転車旅掲載

■ スポーツ専門チャンネルでやまぐち自転車旅番組放映

■ サイクルエキスポ等出展

- 国内最大のサイクルエキスポ：サイクルモード
- シマノ鈴鹿（三重）、アキグリーンカップ（長野）等の国内イベント
- 台湾（世界7大サイクリングロードの日月潭）サイクリングイベント：Come Bike Day!
- ツール・ド・しものせきやサザンセット・ロングライド、きらら浜サイクルミーティング等の県内サイクルスポーツイベント



3 効果的な情報発信

県内サイクリイベントとの連携

イベント名称	開催時期	募集期間	開催エリア	カテゴリー	備考
ツール・ド・しものせき	6/16	2/7～2/19	下関市	サイクリング (ロード)	定員1,600/角島の風景など県を代表するサイクリング
加スカントリーレースin深坂自然の森	9/29	約1月前まで (H30)	下関市	加スカントリー (MTB)	国際規格プロレース(CJ-U3)本最西の開催地
きらら浜タイムトライアル・クリテリウム	5/4,5	3/20～4/25	山口市	クリテリウム (ロード)	ロードレースの登竜門として15年以上の歴史。
ツール・ド・ヤマグチワン	5/26	2/1～3/31	山口市	サイクリング (ロード)	山口市南部の景色と食を楽しむ初心者大歓迎のサイクリング
SLmダウンヒルシリーズ	6/15,16	5月～	山口市	ダウンヒル (MTB)	定員なし/国内唯一のCJ-U前哨戦
ツール・ド・ゆう	11/24	8/13～10/19 (H30)	岩国市	ヒルクライム (ロード)	定員300程度/一般参加者による老舗レース
岩国～錦町とことこサイクリング with 錦川鉄道	12/1	随時 (H30)	岩国市	サイクリング (ロード)	錦川清流鉄道サイクルトレイン/錦川沿いの自然豊かな景色
汗汗フェスタ	8/4	5/7～6/30	長門市	耐久 (MTB)	定員700程度 スポンサー協力
ながとブルーオーシャンライドwith秋吉台	11月下旬	8/1～ (H30)	長門市	サイクリング (ロード)	H30:定員400程度 H30:シマノレーシング協力
サザンセット・ロングライド	10/6	GW明け予定	柳井・周防大島地域	サイクリング (ロード)	定員1,500 県内最長サイクリング
みなすとりん	10/5	9月中旬頃	美祿市	サイクリング (ロード)	定員300程度/H31はJBCFレースと連携予定
周南クリテリウム	10/12	8/14～10/14 (H30)	周南市	クリテリウム (ロード)	定員400程度/大星山と同時エントリー割引
大星山サイクルフェスタinひらお	10/13	8/14～10/14 (H30)	平生町	ヒルクライム (ロード)	定員200程度/周南クリテと同時エントリー割引
ほうふ幸せます大平山ヒルクライム	10月下旬	7/20～10/10 (H30)	防府市	ヒルクライム (ロード)	定員165程度

広域サイクルルート

■「サイクル県やまぐち」広域サイクルルート

- メインルート：サイクリストに特に人気の高い3つのサイクリングルート
本県のサイクリングのイメージルートとし、PRの核として活用

	ルート名称と主な経由地	関係市町	備考
1	【秋吉台グリーンカルスト街道】 A:新山口駅／秋吉台／湯田温泉 B:新山口駅／きらら博記念公園／湯田温泉	山口 美祢	○新山口駅を国外・県外からのアクセス拠点として位置付け・整備 【一部ファミリー向け】
2	【角島大橋ブルーオーシャン海道】 [A:角島夕焼けルート] 関門トンネル／川棚温泉／角島 [B:北長門ルート] 角島／湯本温泉	下関 長門	○山陰本線と併走 ○角島をポイントに2ルート
3	【サザンセトオレンジ海道】 柳井／周防大島一周／平生	柳井 周防大島 平生	○瀬戸内多島美 ○せとうちDMOとの連携 ○柳井駅等を広島からのアクセス拠点と位置付け、サイクルピット整備

○スタンダードルート：道の駅や観光施設等をつなぐサイクリングに適した9ルート

	ルート名称と主な経由地	関係市町	備考
4	【北長門絶景パワースポット輪道】 湯本温泉／棚田／元乃隅稻成／千畳敷	長門	○人気観光スポットが充実 ○混雑する狭い道を快適にライド
5	【萩世界遺産海道】 萩市内／道の駅阿武町／ホルンフェルス	萩 阿武	○世界遺産が多く集積する地域から県境まで日本海沿いを走るルート
6	【秋吉台ジオアドベンチャー輪道】 弁天池／秋吉台／秋吉洞／景清洞／大正洞	美祢	○秋吉台の雄大な大地・美しい景観を交えて日本の原風景を走るルート
7	【瀬戸内アドベンチャー輪道】 新山口駅／小野湖／焼野海岸／山口宇部空港	山口・美祢 山陽小野田 宇部	○湖から湾岸風景まで楽しめるコース ○新幹線駅や空港からのアクセスが便利
8	【周防田園サイクリング輪道】 佐波川自転車道／山口防府小郡自転車道／山口秋吉台公園自転車道	山口 防府	○山口県の3つの自転車道を走るルート 【ファミリー向け】
9	【あとうMTB&SL輪道】 十種ヶ峰／地福／三谷／長門峡	山口	○SL 併走 ○MTB パークでの体験ライド
10	【錦川清流街道】 新岩国駅／和木／錦帯橋／錦川／雙津峡	岩国	○錦川の清流と錦帯橋
11	【Alpine クライム街道】 徳山港（駅）／永源山公園／和田～鹿野	周南	○海から山間部までの上級者ルート ○九州との連携
12	【維新の志士街道】 関門トンネル／長府／東行庵	下関	○高杉晋作縁の歴史スポットを散策 ○九州からの誘客を想定

(参考資料)

サイクル県やまぐち経済波及効果分析および戦略について

■現状整理

○サイクリイベントについて

H30年度：「All Yamaguchi Ride Festa 2018」を山口ゆめ花博の開催期間に合わせ開催



H29総参加者数4,400人からH30総参加者数17,400人
(13,000人増) 大幅増

県内サイクリイベント（市町分）

H29総参加者数5,230人からH30総参加者数6,460人
(1,230人増) 微増

○サイクルスポーツ環境の整備について

H30年度：サイクルエイド50カ所整備。合計129カ所となり、目標の100カ所を達成
整備数：西部・・・35カ所

中部・・・47カ所

東部・・・47カ所



○情報発信について

H30年度：サイクル県やまぐちの取組を発信するため、フェイスブックページ、ポータルサイトを28年度より開設。フェイスブックの「いいねの数」は、累計8万件となり、目標の1万件を達成。

(参考資料)

サイクル県やまぐち経済波及効果分析および戦略について

○アンケート分析

イベント来場者：県内70%弱、広島県10%強、福岡県6%強、宿泊は20%強。
大会情報入手は「公式ホームページ」が最も多い。

競技関係者：県外から70%強が来場。宿泊は70%弱。

○経済波及効果分析

イベント来場者：一人当たり11,380円 競技関係者：一人当たり40,976円

イベント来場者

1人当たり県内消費額（総平均）

(円)

交通費	宿泊費	飲食費	土産代 (菓子・ 食品類)	土産代 (食品以外)	観光レ ジャー費	会場支出	その他	合計
2,667	1,617	1,986	494	287	311	337	41	7,740

(単位：円、倍)

需要増加額	7,740
県内需要増加額A	7,338
消費転換率	0.736

(単位：円、倍)

	生産誘発額
直接効果	7,338
間接波及効果	4,042
第1次間接波及効果	2,475
第2次間接波及効果	1,567
総合効果B	11,380
波及効果倍率B/A	1.55

競技関係者

競技関係者の1人当たり県内消費額（総平均）

(円)

交通費	宿泊費	飲食代	お土産代	その他費用	合計
12,656	6,324	4,338	2,647	1,618	27,583

(単位：円、倍)

需要増加額	27,583
県内需要増加額A	26,151
消費転換率	0.736

(単位：円、倍)

	生産誘発額
直接効果	26,151
間接波及効果	14,825
第1次間接波及効果	9,214
第2次間接波及効果	5,611
総合効果B	40,976
波及効果倍率B/A	1.57

全体で約
2.2億円
の経済効果

イベント来場者16,650人
経済効果約1.9億円

競技関係者750人
経済効果約0.3億円

(参考資料)

サイクル県やまぐち経済波及効果分析および戦略について

■外国人動向分析

○旅行者の動向（全国）

旅行者数、旅行消費額ともに、2010年から約4倍に増加。

■ターゲット国分析

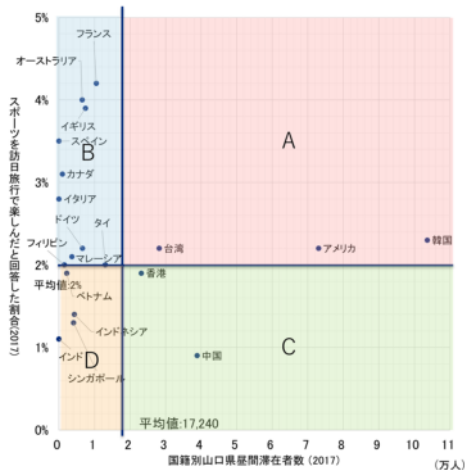
○有望なターゲット国（スポーツ、体験を目的とした旅行を好む国）

最重点ターゲット：台湾、韓国、アメリカ

重点ターゲット：香港、イギリス、オーストラリア

チャンスのある国：フランス、スペインなどの欧米諸国、東南アジア諸国

国籍別山口県訪問者数とスポーツ興味回答比率



各象限の特徴とインバウンド対策の課題

サイクリングポテンシャル：高 滞在：多 韓国・アメリカ・台湾	A	【山口県訪多スポーツポテンシャルも高い層】 ➢ 山口県での滞在が多く、訪日旅行にスポーツを求めている層。 ➢ ポテンシャルが高いため積極的にPRすることで、サイクリング目的で山口県に訪問してくれる可能性が非常に高い。
サイクリングポテンシャル：高 滞在：少 フランス・オーストラリア・イギリス・スペイン・カナダ・イタリア・ドイツ・タイ・フィリピン・マレーシア	B	【山口県訪少ないがスポーツポテンシャル高い層】 ➢ 山口県での滞在は少ないが、訪日旅行にスポーツを求めている層。 ➢ PRすることで、サイクリング目的で山口県に訪問してくれる可能性が高い。
サイクリングポテンシャル：低 滞在：多 中国・香港	C	【山口県訪多いがスポーツポテンシャル低い層】 ➢ 山口県での滞在は多いが、訪日旅行にスポーツを求めている層。 ➢ サイクリング戦略と相性がよいとは言えず、上記ABよりも優先度は下がる。
サイクリングポテンシャル：低 滞在：少 ベトナム・インド・インドネシア・シンガポール	D	【非注力ターゲット層】 ➢ 山口県での滞在が少なく、訪日旅行にスポーツを求めている層。 ➢ 当面は、PRなど注力をする必要がない。

(参考資料)

サイクル県やまぐち経済波及効果分析および戦略について

■分析結果の考察

○現状整理から

サイクルイベントでは、体験型併催イベントの充実と、効果的な広報が必要。

サイクル環境整備は、隣県からの結節点の整備が必要。

情報発信は、イベントの周知、山口県の魅力を伝える発信を増やす。

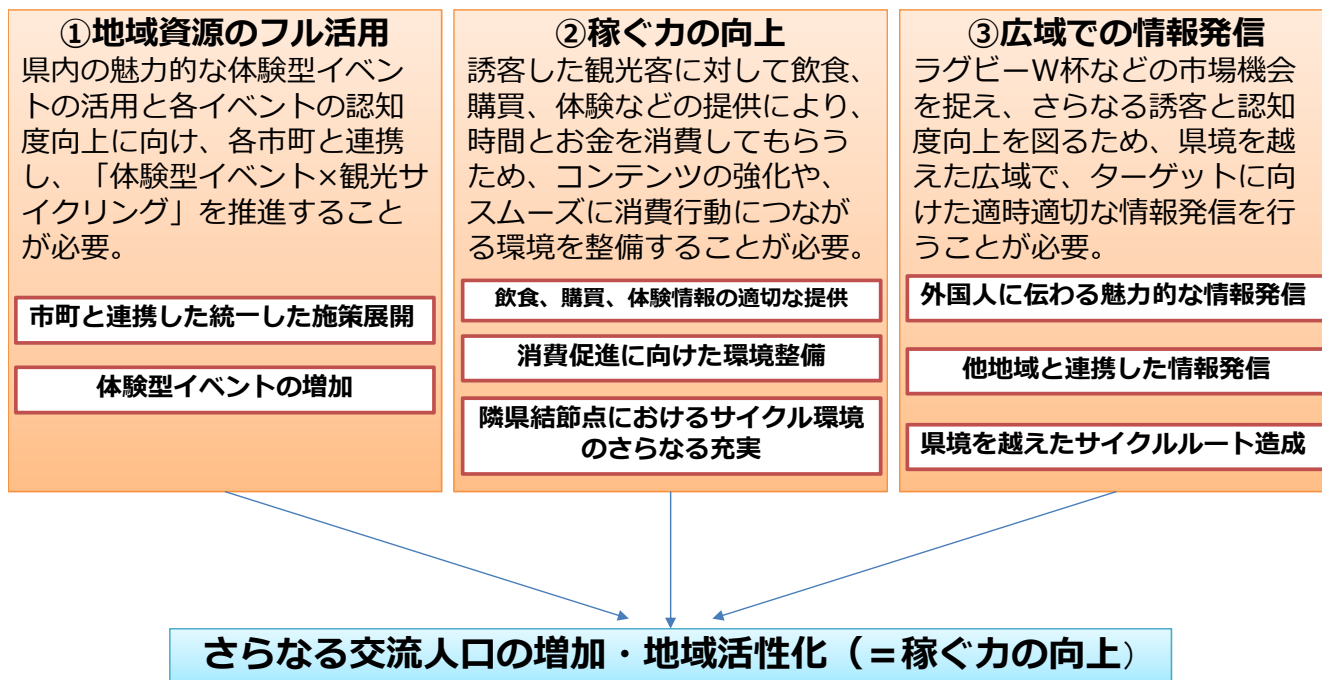
○アンケート分析から

消費額増加には、宿泊客数の増加が必要。また、公式ホームページからの情報収集が多いので、ホームページの充実とSNSを使った幅広い層への情報発信が必要。

○外国人動向分析から

スポーツ、体験を好む国をターゲットとした、体験コンテンツの創造や、山口県の魅力を伝える効果的な情報発信（SNS活用、海外雑誌掲載）が必要。

■新たな取組に向けた3つの方向性



5 H31年度の展開方針(案)

議案第2号

民間を主体としたサイクルツーリズムの基盤づくり

1 シンボルイベントの開催

- 地域主体によるイベントの開催

2 サイクルスポーツ環境の整備

- 詳細版サイクルルートマップ作成（主要3ルート）
- サイクルエバンジェリストの積極的活用
- 長期滞在に向けた体験コンテンツの創造

3 効果的な情報発信

- アクセラレーターによるSNSを活用した情報発信を本格稼働
- 欧米を意識した海外情報誌への発信

サイクルエバンジェリストとは
サイクリング観光客への県内サイクル施設の総合案内、県内施設やガイドを活用したサイクリングツアー造成支援などを行う民間人



アクセラレーターの役割
SNSを活用し、県内の食や景観、サイクル情報等を発信する民間人

ポイント

民間を活用しながら、積極的にサイクルツアーの誘致を推進し、本県においてサイクルツーリズムによる交流人口拡大・地域の活性化を目指す。

- 各市と民間が連携した集客企画（新分野スポーツとの連携）
- サイクルエバンジェリストの積極的活用
- サイクリストの宿泊を一層促進（滞在日数長期化に向けた体験コンテンツの造成）
- 経済効果の測定と分析を生かした計画

6 H31年度の展開(1)

1 シンボルイベントの開催

各地域主体によるイベントの開催

■市や県車連が中心となってレースを開催

■県が中心となった広域的かつ効果的広報、集客が見込める併催イベントの提案などの誘客対策

[例] ○新分野スポーツなどのコラボ企画の実施

○移動動物園や、電動自転車、タンデム自転車電動マウンテンなどの体験会の実施



やまぐちタイムトライアル（仮称） A

10/5(土)

秋吉台カルストロードレース A A A

10/6(日)

やまぐち十種ヶ峰国際ダウンヒル（CJ-U1） [山口市]

10/26・27(土日)



■やまぐちタイムトライアル（仮称）

10/5(土)



■秋吉台カルストロードレース

10/6(日)



■やまぐち十種ヶ峰国際ダウンヒル

10/26・27
(土日)



6 H31年度の展開(2)

2 サイクルスポーツ環境の整備

ツーリズムに軸足を置いた環境整備

拡充 サイクルエイド・サイクルステーション整備拡大

- 新規30カ所→計170カ所
- 既存施設の点検、改善

拡充 サイクルピット整備・機能拡大

- 港湾施設を含む新規3カ所程度→計13カ所程度

拡充 宿泊施設へのサイクリスト用設備の設置拡大

- 県西部・東部・北部を重視した整備

新規 主要3ルート of サイクルルートマップの作成

- 食事、観光、宿泊、体験等の情報を記載
- サイクルエイド・ステーション、ピット等に配備

新規 広域連携ルートへの路面標示

- 他県との広域連携ルートの整備

新規 サイクルエバンジェリストを活用したサイクルツアールート of 造成・催行支援

- 12の県内サイクルルートを活用した誘客促進
- サイクルエバンジェリストによるガイド、レンタサイクル加配
- 近隣県と連携した広域ツアールート造成
- 首都圏からの誘客促進



継続 ガイド養成講座・ライドスクールの実施

- 年2回程度実施予定（ガイド約10人養成→計40人程度となる見込）

継続 セーフティーライドの推進

- ヘルメット着用、初心者向けライドスクールの実施



継続 サイクルトレインを活用したツアー実施

拡充 民間事業者と連携したサイクルツアー拡充

- 観光・交通事業者の車両に自転車キャリアを設置し、サイクルツアー拡充

継続 サイクルスポーツ人口拡大に向けた取組

- イベントを通じたサイクルスポーツ人口拡大に向けた市町の取組を支援

長期滞在に向けた体験コンテンツの創造

新規 市町、観光団体、文化団体等と連携した体験コンテンツの創造

- 歌舞伎体験、甲冑着付け体験、箏曲演奏体験などの文化体験、観光地での新分野スポーツの体験等の創造

6 H31年度の展開(3)

3 効果的な情報発信

新規 サイクルスポーツ誌、海外向け雑誌による情報発信

- [例] 欧米を意識した海外向け雑誌への掲載



継続 サイクルエキスポ等出展

- 国内外エキスポ・サイクルイベント等への出展



拡充 サイクルポータル運営

- 市町やサイクル協力店による積極的なイベント発信

拡充 他県と連携した情報発信

- 中国知事会や近隣県と連携し、サイクルスポーツイベントへの共同出展や相互リンクなどを実施

継続 「アクセラレーター」による情報発信

- 一般県民・サイクリストで構成する情報発信チームにより、SNS等でイベント情報やサイクリングで行くグルメ情報等を発信

7 推進主体

推進組織

推進協議会【方向性決定機関】

- 「サイクル県やまぐち」へ向けた取組方針決定

幹事会【施策決定機関】

- 具体的な施策を決定
 - ・ テマ別WGの意見を調整・集約等【検討チーム】
 - ・ 「サイクル県やまぐち」イメージ創出・定着方策を企画

【連携機関】

中国知事会、せとうち観光推進機構・九州観光推進機構・近隣県など

◆各ワーキング【検討・実践機関】

来県者増加

新規イベント・モデルコースの開発、既存のイベントの魅力アップなど、ライダーやその関係者の訪問意欲の喚起

地域活性化

県内各地域における特徴ある取組の支援・取りまとめ・相互調整

環境整備

魅力のある自転車利用・周遊、滞在時間の延長に繋がるソフト・ハード両面におけるサイクルスポーツ環境の整備

情報発信

県内サイクル情報発信、他県機関等と連携した一体的な情報発信、SNSの活用による山口ファン層の拡大、PR活動などのサイクルイメージの発信

「サイクル県やまぐち」のイメージ創出を推進するために、あらゆる分野の機関体が連携

行政（県・市町）

交通機関

自転車関係団体

経済団体・民間企業

宿泊事業者

地域団体

教育機関

警察

シンボルイベント実行委員会(各エリア)

8 プロジェクトの目標 —2019(H31年)

1 シンボレイベントの開催

- 持続可能で地域に根差したイベント運営の仕組みづくり
- 体験型イベントの企画や効果的な広報活動による15,000人以上の集客

2 サイクルスポーツ環境整備

- 県内全域においてサイクルスポーツを活かした取組を展開
- 全県でサイクルエイド、ステーション全県で170か所程度設置
- インバウンド長期滞在を目指した体験コンテンツの開発

3 効果的な情報発信

- SNSによるイベント情報、魅力的な観光情報アップ
- 海外情報誌への掲載



2019年(H31)

サイクルスポーツ
交流人口30,000人/年度

